



## スマートフォンを活用した妊婦への説明と情報提供 —業務の効率化と利便性の向上をめざして—

### 学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院

東京都中央区  
520床／職員数 2,228 名（うち看護職員数975名）



#### 課題・背景

##### ①産科の助産師・看護師の負担

○産科外来での産婦の説明に時間を要すること、紙媒体テキストの修正、母親学級の案内・予約への業務負担や問い合わせ対応、助産師間の連絡調整など

##### ②妊婦の負担と利便性の悪さ

○週数に応じた情報提供への困難感や、母親学級・両親学級の予約には来院を要することから、妊婦の負担が大きい

##### ③コロナ禍での情報発信の困難感

○災害発生時等の緊急時には、妊婦自らホームページの情報にアクセスすることが必要であり、タイムリーな情報共有ができない

#### 目的・目標

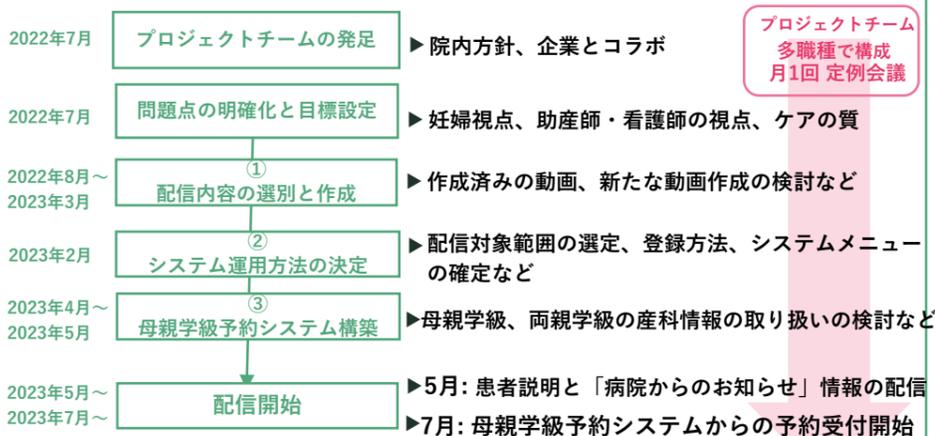
##### ①業務の効率化、費用の削減

##### ②妊婦の利便性向上と効果的な情報提供

#### ▶ 妊婦への情報提供のICT化

#### 取り組み内容

##### 取り組みの流れ



プロジェクトチーム  
多職種で構成  
月1回 定例会議

##### ① 配信内容の選別と作成

医師、看護職、薬剤師、栄養士、歯科衛生士が分担作成

- システムベンダーのサンプルを確認
- 配信内容の選別と作成
  - ・週数ごとの配信内容を決定
  - ・音声動画は3～4分以内で作成
- 「病院からのお知らせ」にて毎月季節に合わせたトピックス配信



##### ② システム運用方法の決定

予約システムベンダーとプロジェクトメンバーでシステムの管理方法を検討

- システムメニューの確定
  - ・スマートフォンの母親学級の案内から予約システムにつながる
- 配信対象者、登録方法、停止方法の確定
  - ・受付時に診察券のバーコード情報を読み取ることで登録できる
- 妊娠の各週数に配信するメッセージの確定
- 産科病棟、産科外来での周知活動



##### ③ 母親学級の予約システムの構築

予約システムを作成（※）し、コミュニケーションアプリ経由で配信  
※自院にて予約システムを作成

- 予約管理ツールで母親学級予約システムを作成
  - ・スマートフォンの母親学級の案内から予約システムにつながる
- 母親学級、両親学級の参加者情報の取り扱い
  - ・受付時に診察券のバーコード情報を読み取る
- 助産師が予約管理ツールで予約枠を作成

#### 成果・効果

##### ① 業務時間の削減

年間約 **150～180時間**の業務時間削減効果

○集団説明会に要する時間の減少

1回165分×月3回×12か月  
= 99時間/年間

▶ 初回の集団説明会の廃止により  
**0時間**

○母親学級の説明と予約説明に要する時間の減少

5～8分/妊婦1人  
※分娩数1,400件/年

▶ **2～3分/妊婦1人**

##### ② 印刷費用の削減

○母親学級テキストの印刷廃止  
※印刷部数1,560件/年

年間約 **45万円**の経費削減効果

##### ③ スタッフの負担感の軽減

アプリ・予約システム導入後の業務・精神的・身体的負担、満足度についてアンケート調査を実施 対象：外来・病棟助産師・看護師の20名

○負担について：「とても負担が減った」「やや負担が減った」と答えた割合

・業務負担 : **70%**  
・精神的負担 : **60%**  
・身体的負担 : **60%**

○満足度：「非常に満足している」「やや満足している」と答えた割合

**90%**

##### ④ 妊婦にとっての利便性の向上

配信開始3週間後、利用者200人にWebアンケートを行った（回収率40%）

利便性：**97.4%** **便利**

動画の理解度：**96.1%** **わかりやすい**